

19/3/6 名古屋市議会本会議 名古屋城関連質疑

(名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし)

坂野公壽議長（自民）：次に、浅井正仁君にお許しいたします。

浅井正仁議員（自民）：坂野公壽議長（自民）のお許しをいただきましたので名古屋城天守閣木造復元について質問させていただきます。

財政局への質問は時間の関係で割愛させていただきます。

名古屋城天守閣木造復元について質問するたびに「頑張ります」という答弁が繰り返され、そんな役所の言葉を信じて、私はいました。

しかし結果は昨年 10 月の文化審議会を断念。すでに今年 5 月の文化審議会で復元の許可も断念しています。

そして現在の天守閣に耐震性に問題があることを理由に、まずは解体を先行したいと文化庁に申し入れたそうですが、こうした耐震性の問題は、前回の文化審議会のときも同じだったと思います。

誰が見ても、いよいよ 2022 年 12 月に間に合わなくなったからとりあえず解体だけでもしたいという考えが見え見えます。

今更「耐震が」なんて理由を言っても説得力がありません。

本当に耐震を理由にして、すぐにでも取り壊しが必要なら、最初からそうしていたはずで

ず。

でははじめに天守閣の解体に関する現状変更許可の先行取得についてです。

これまでずっと解体と復元をセットで許可を取ると言ってきたのに、急に解体先行させると言い出しました。

一体誰が解体を先行させようと提案したのでしょうか。

文化財コンサルタントだという人、名古屋市だと言う人、なんだかはっきりしないので、明確にいつ誰が提案し、いつ解体先行という方針に変更したのか、お答え願います。

次に解体を先行する前提での今後の工程について質問させていただきます。

ここに名古屋城木造復元に関する二つの工程表があります。

これが二つの工程表です。一体どちらの工程表が正しいのでしょうか。

この二つの工程表の違いについて答弁願います。

また、この天守閣の解体に向けた工程表によれば、今年 5 月の文化審議会で解体許可を受けて 7 月から解体準備、2020 年の 3 月から 8 月にかけて解体となっています。

もともと木造天守閣は 31 ヶ月程度の建設期間が必要と言われていましたので、ここにある解体までの工程表と、これまでに提出いただいていた工程表の解体以降の部分を繋ぎ合わせた場合に、どれぐらいの工期短縮が必要になるのか、またその工期短縮を達成するため、どれぐらいの人員体制の増強が必要になるのか、お尋ねします。

以上3点を広沢副市長にお尋ねし、1回目の質問を終わります。

広沢副市長：名古屋城天守閣木造復元の進め方について、3点のご質問いただきました。

まずはじめに、解体先行の提案、方針変更についてでございます。

平成30年10月、文化審議会への諮問がされなかった時点から、天守閣整備事業の今後の検討を進める中で、耐震性が非常に低く、危険な状況である現天守閣をいつまでも、放置できないことから、現天守閣の先行解体について、観光文化交流局内で検討しておりました。

コンサルタントからは、「本来の姿と異なる姿となっている。穴蔵石垣を復元するために現天守を解体し、詳細な調査を行う」という助言をいただき、その助言も参考にして、1月31日に市として方針決定し、2月1日に、文化庁に説明したものでございます。

次に、解体に関する二つの工程についてでございます。

こちらの工程の一つは予算要求の際に提出をいたしました解体の工程でございまして、これまで竹中工務店から提出されていた工程にもとづき、観光文化交流局で作成したものでございます。

もう一つは今回、予算議案を提出するにあたり、改めて竹中工務店と協議をした結果に基づいた工程でございます。

現時点での工程は今回提出した工程が最新のものであると考えておりますのでそれぞれ過程の中で作成したものでございまして、大きな齟齬はないものと認識しておりますのでご理解賜りたいと存じます。

最後に、工期短縮、人員増強の必要性についてでございます。

復元の工程につきましては竹中工務店と協議をいたしましたが、現時点では現状変更許可が見通せないため、工程は出せないと言われております。

その中でももとの工程は、現時点で適用できるものではないので、その工程とあわせたものは誤解を与えるため、お示しできませんのでご理解賜りたいと思います。

もともとは昨年10月の文化審議会で復元の許可を得る予定でございましたが、今年5月の文化審議会で解体の許可を得た場合でも、7ヶ月遅れますので、工期に間に合わせるためには、復元工事の中では人員の増強や、労働時間の調整等の復元工夫が必要になると考えております。

以上でございます。

浅井正仁議員（自民）：こちらが予算編成時、そしてこちらが先般出された工程表。この工程表が正しいとするならば、予算要求時点の工程表は一体何だったんでしょうか。

予算編成事務ならびに予算そのものに対する疑念を抱かざるを得ません。

そして、竹中工務店。工程は出せないと言われておりますということですが、これは技術提案方式じゃなかったんでしょうか。

それも復元までの。なぜ出してもらえないのか。

これも疑念をいだかざるを得ません。

これから市長さんに再質問させていただきます。

先ほど広沢副市長が答弁したのは、市長の過去の記者会見での発言と食い違いが生じているのではないのでしょうか。

市長は2月4日の市長定例記者会見において、「まずは石垣の解体について先行して変更許可を取るのは、僕が言っとるんじゃないですよ。石垣部会から推薦を受けたコンサルタントがそう言っているんですよ」と発言されております。

コンサルタントから、この点について、何か言われているのでしょうか。

そして、お2人の発言の食い違いについてどう考えるか。市長、お答えください。

河村市長：コンサルさんのお話はもう、その前提として元々とにかく耐震性が極めて低いので、この取り壊しをせないかと。

言っとったわけですからこれはそもそも。入場禁止にするぐらいですからもう1年も経ちますけどこれ。それがそもそもあって、それでまあ文化庁からは、とにかく文化庁は「はっきりのぼすつもりはありません」と明言しています。

で、そのかわり、こないだも言いましたように、戦後復興のコンクリート天守の復元、将来どうなってくるかわかりませんが、名古屋城が一番最初にくるので、まあ丁寧にやってくださいよという要望がありましたので、まあ丁寧にやらせていただいているということで、まあ石垣部会の皆さんの話も十分聞きながらやってきたと。そういう中で、食い違いはありません。

石垣部会の皆さんには、あのまあ今日電話で確認したんですよ。ご本人に。

ほしたら、そのこれコンサルコンサルコンサル、コンサルに今日電話で確認しました。

ほしたら、名古屋市の方針として石垣を、いや天守を解体することはわかっております。

そこで、まあまあ補強的にといいますが、あの洞穴じゃないわ、どういったか、穴蔵の、地下の穴蔵、穴蔵の石垣をまあ調査したりするときには、まああの上の解体が、便利だわなど、必要だわなど、そういう趣旨で言ったんであって、別に問題ないですよと言って今日まあご本人が言っておられました。

浅井正仁議員（自民）：やっぱり分からない。私もわかんないもので。

えっとですね。まずね、コンサルタントさん。

市長の部下はね、「クレームいただいた」と言ってるんですよ。クレームをいただいたと。

市長の発言によって。観光文化交流局の職員の方は言ってます。

私の前で。ね。ちゃんと職員とうまくやっています？（嗤うものあり）

でね、市長。

ここで私が独自ルートで調べた真実をお伝えいたします。

文石協所属のコンサル会社勤務のご両名が、名古屋市と名古屋城について会談したことは事実ですが、復元と解体を分割申請する提案はしていないと言明しました。

会談の中で、名古屋市が復元と解体を分割申請するアイデアを示し、同意を求めたというのが真相のようです。もちろん2人は同意しておりません。

文石協そのものが会談に関わったわけではないとのことでした。

さらに言わせていただくなれば、次に石垣部会についてですが、市が私への説明によりますと、石垣ワーキングにおいて石垣部会は「解体することについて文化庁が判断する内容である」との結論に至ったことでした。

これは市長も中日新聞で言ってます。

しかし、真実は石垣部会の方が「天守台石垣の調査と評価、それに基づく保全の方針が名古屋市からきちんと提示されていない段階では議論できない」というのが真意だとおっしゃっていました。要は資料が何も石垣部会の方から提出されていないのに議論はできないということなんですよ。

なぜこんな大事なことが伝わっていないのか不思議でしょうがありません。

それではね、市長に再度質問させていただきます。

次に5月の文化審議会について伺います。

先ほどご答弁にもありました。

元々は昨年10月の文化審議会での解体の許可を得た場合でも許可が7ヶ月遅れるとのことでした。

仮に7ヶ月の工期短縮を天守閣の建設工事で行うとすると、31ヶ月の工程を24ヶ月で実施しなければならないことになります。では、5月に解体の許可が出なければ、2022年の12月完成は断念するということではよろしいでしょうか。お答えください。市長。

河村市長：それはまあ、あの一、お約束した通り、あのスケジュール通りやりぬくと、いうことで、あの一、いきたいと思います。

浅井正仁議員（自民）：僕が6月から質問して、はや9ヶ月。希望だけなんですよ。何の結果も出てないんじゃないですか。

（「ちがいますよ、坂野公壽議長（自民）」と叫ぶ声あり）

質問してません。

坂野公壽議長（自民）：いかんいかん、まだ彼の

浅井正仁議員（自民）：じゃあ市長に言います。

資料を作っただとかそんなことではなくて、この6月から3月の、この9ヶ月間でどんな結果が出ましたか、お答えください。

河村市長：まあ大きい違いはこの度文化庁から初めてですけど、だいたい5項目。5月の許可に向けてという条件のもとですよ。

僕はもうこれだけ出してくださいという話がありまして、それに従ってまあ近々、あのその書類を提出するというのが、あの一できておりますので、抽象的ではありません。決定的に違う。

浅井正仁議員（自民）：文化庁から5項目、それは提出すればいいものですか。石垣部会の附帯というものがあつたと思います。どう解決するんですか

河村市長：そこに書いてありますように、石垣部会の意見を付して提出してください。これはこの間公開いたしました全部5項目。

浅井正仁議員（自民）：意見を付せば通るんですか。そんなもんで通るならね。認識が甘過ぎるんじゃないですか。

今石垣部会の方から言われている宿題をこなしてないのに何で通るんですか。

それから、3月25日に石垣部会があるでしょう。あるんですよ。市長知ってます？

はあ？知らないの。

3月25日までに宿題を提出し、そしてなおかつ新たに宿題をもらう。ね、そして4月中に文化庁文化審議会に提出する資料を揃えるんですよ。ここまで認識してますよね。

そうして、5月の文化審議会。果たしてこのスケジュールで本当に市長やれるんですか。

河村市長：あのそれは2月行ったときにも確認しておりまして、以上のその条件を揃えて出してくださいと。

でそれはいろんな意見がありますから、こういうものは。特に石垣については意見は非常にまあいろんな意見があります。

そもそも何にもなぶらんほうがええぐらいがええと言う意見もあるぐらいです。

それは意見を。提出したら、提出したら、それは文化庁さんがお考えになることですけど、今までもう四、五年やってますけど。

文化庁さんの指示に従って丁寧にやってくれということで、なんら手続きに違法もないということでございますので、文化庁さんははっきり「遅らせるつもりはない」とそういうふうに言ってますので。

浅井正仁議員（自民）：まあずっとね。日にちがある以上、おんなじ議論ばっかで、なんか

モヤモヤする質問、名古屋城をね、質問なんですよ。それでね、そんなら市長。  
仮に5月。駄目だった場合。あなたが全責任をとるんですよね。

河村市長：それからあの一つ肝心なことは石垣部会さんは

坂野公壽議長（自民）：いいわいいわ、質問に答えて

河村市長：いやいや石垣部会さんは、天守取り壊しについては文化庁が決めることだと。  
そういうふうに言っておりますから。  
まずこれ一つ。

坂野公壽議長（自民）：責任の問題で答弁してください

河村市長：責任って、それは今必死になってこれずっと、進めてきてですね。  
文化庁さんからも条件というか手続きが示されて、それをやっとするんだ。  
それは当然許可いただける、それに向けてやっとするわけで、そんなできなかったときのよ  
うな発言そんな無責任な事できるんじゃないですか。

浅井正仁議員（自民）：できなかったことをね、想定するのね、あなたの仕事でしょう。  
（「そうだ、その通り」と叫ぶ者あり）

リスクマネージメントもね何にもせずにやるんですか。ねえ市長。  
あなたね、都合のいいときばっかね。仮定だとかそんなことばっか言ってね。ちょっとお  
かしいんじゃないですか。  
ねえ、自分の都合のいいときは仮定の話ばっかして、どんな劇場でね、仮定の話してる  
んですか。  
ちゃんとね、これね名古屋市1のね、あなたの公約のね一番大事な事業なんでしょう。  
真面目に答えてくださいよ。

坂野公壽議長（自民）：河村市長

河村市長：文化庁からこういう手続きとかこういうの出してくださいよってちゃんと  
しっかり検討しますから、そういったそんなときにですね、こちらから僕からですね、許  
可ができなかったときなんか、そんな失礼なことを言えるわけじゃないじゃないですか。  
それは質問者に言ってるんですよ。  
文化庁に頼んどるんですよお。持ってきてくださいとしっかり、そんな出来なかったこと  
をですね。そんなひどい質問ないじゃないですか。

浅井正仁議員（自民）：文化庁がね、云々じゃないんですよ。石垣部会の宿題も、文化庁のこの間の五項目か、も、みんな名古屋市にボールは投げられてんですよ。そのボールを投げ返すだけなんですよ。それができるかどうかと聞いてるんですよこの1ヶ月で。

坂野公壽議長（自民）：河村市長、きちんと答えて下さい

河村市長：一つ間違っとるのは、石垣部会は天守の取り壊しについては文化庁さんがやられることだと、そういうふうに言ってますから。  
（「聞いてない」と叫ぶものあり）  
いや聞いてないって、そう言ってるんだから。

坂野公壽議長（自民）：市長に言います。ちゃんときちっとあの質問に答えて下さい。

河村市長：前提が違うっつのもん、石垣部会

坂野公壽議長（自民）：前提はちがっつてもなんでも質問に答えて下さい。

河村市長：そう言うてるんですよ。そういうことなんです。天守のことは、文化庁さんがやられること、決められることですよ。そう言ってますよ。

坂野公壽議長（自民）：だから責任の、ちょっと市長に言います。  
（「責任を取らない、と」と叫ぶものあり）

河村市長：責任あるじゃ、そういつて

坂野公壽議長（自民）：ちょっとちょっと、

河村市長：誠心誠意お願いして向こうもしっかり検討するといつてるんですよ。そんなときにできなかったらなんてこと言うのは文化庁に失礼じゃないですかそれ。

坂野公壽議長（自民）：はい、市長に言います。ちゃんときちっと質問に答えてください。質問に答えて下さい。

河村市長：今答えてますが。

坂野公壽議長（自民）：だから、皆さんがわかるように答えてください。それは

河村市長：できなかつたらというようなことをです。

浅井正仁議員（自民）：文化庁に失礼ってね、別に文化庁に失礼じゃないじゃないですか。名古屋市がね、宿題を持っていくのは仕事でしょ。何で文化庁に失礼なんですか。全然文化庁なんか関係ないじゃないですか。

それでね、そのもし 5 月にできんかったときね、リスク、ね、そういったものもね考えるべきですよ。ねえ、たくさんのね、局長をはじめ副市長がいるじゃないですか。

しっかりとサポートしてくださいよ。

これで私の質問を終わらせていただきます。